

関節症状を伴う透析患者に対する エイトの使用経験



東葉クリニック八日市場
臨床工学技士 副技士長
坂口 鉄兵様



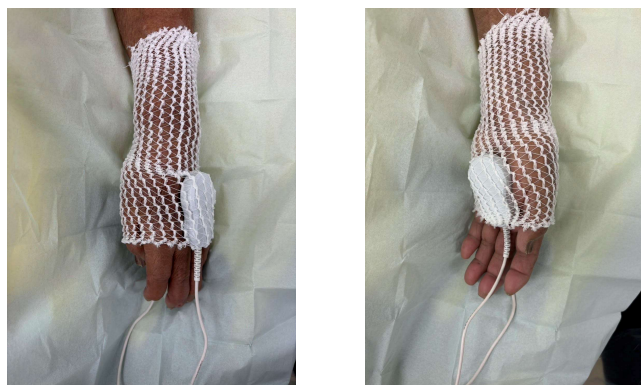
【はじめに】

長期透析患者における関節症状の頻度は60%程度と多く、QOLやADLを低下させる要因となっている。今回関節症状を訴える患者にエイトを使用し、痛みが軽減したかNRSで評価した。

【症例①】

- ・70代女性 透析歴31年0ヶ月（2024年11月現在）
- ・過去に右手1回・左手2回の手根管開放術の実施歴があり、現在リクセル使用中であるが両手手掌、特に左手の痛みの訴えが強く左手に対してエイトを使用した。透析毎に左手に二個エイトを固定し（写真1）、30分間実施した。使用前のNRSは8で、三週間後のNRSは6と軽減傾向であった。使用当日はNRS3程度まで痛みが軽減したが、翌日には痛みが再燃し、効果は持続しなかった。

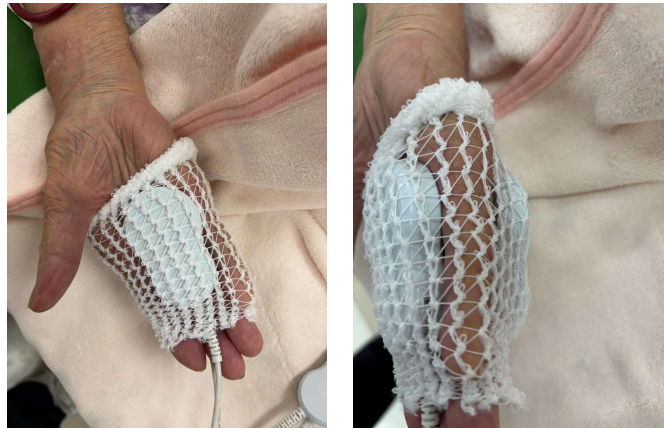
写真1



【症例②】

- ・ 70代女性 透析歴10年7ヶ月（2024年11月現在）
- ・ 過去に両手ともに手根管開放術の実施歴あるものの、透析中の血圧が低くリクセルが使用できない状況にあり、特に右手の痛みが強くエイトを使用した。透析毎に右手に二個エイトを固定し（写真2）、30分間実施した。使用前のNRSは8で、三週間後のNRSは2まで改善した。本人は透析中のエイトの使用で十分な満足感があったが、家でも使いたいとのことで自費購入され自宅でも毎日1時間程度使用しているとのことだった。

写真2



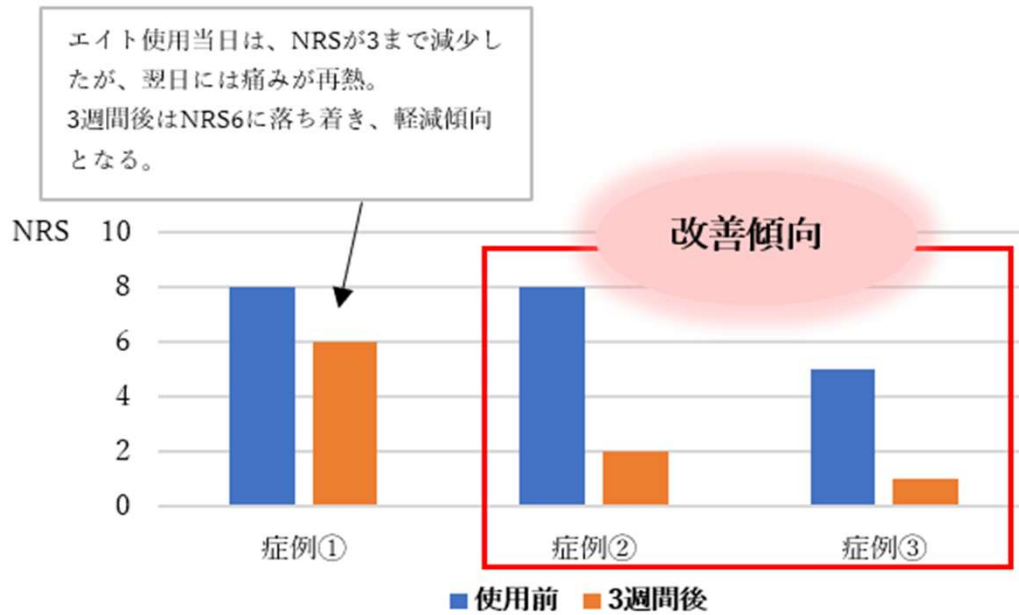
【症例③】

- ・ 80代男性 透析歴10年5ヶ月（2024年11月現在）
- ・ 両足首に痛みがあり、歩行が辛いとの訴えがありエイトを使用した。透析毎に両足首～ふくらはぎにかけて二個ずつエイトを固定し（写真3）、30分間実施した。使用前のNRSは5で、三週間後のNRSは1まで改善した。患者は、歩行が楽になり、エイトを使用した日は痛みがなくなった。

写真3



【症例別】NRS推移



【考察】

今回3例の関節症状を訴える患者に三週間エイトを使用した方が、効果が得られた方、現段階では効果があまり見られない方と違いが見られた。効果の違いと持続性については今後検討の余地があると思われる。効果の少なかった1名の患者に対しては、長期的な使用で痛みがどのように変化するか検討していきたい。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp